

24 正の数・負の数の利用

2024 年度版

◎地球温暖化について、松阪市の気温をもとに考えてみよう。
2024年4月松阪市の最高気温について調べてみます。

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	日曜
1週目	22	20	20	13	18	15	18
2週目	22	17	14	17	16	20	22
3週目	23	21	20	23	18	22	25
4週目							

(単位℃)

課題1 4週目の松阪市の最高気温をタブレットで調べて、入れてみよう。
(注)小数第1位を四捨五入します。

<例1> 1週目の最高気温の平均を求めるには

$$(22 + 20 + 20 + 13 + 18 + 15 + 18) \div 7 = \underline{\hspace{2cm}} (\text{℃})$$

課題2 2週目から4週目までの平均を同じようにして求めよう。

2週目 () $\div 7 = \underline{\hspace{2cm}} (\text{℃}) \dots ①$

3週目 () $\div 7 = \underline{\hspace{2cm}} (\text{℃})$

4週目 () $\div 7 = \underline{\hspace{2cm}} (\text{℃})$

<例2> 正の数・負の数を利用して、2週目の平均を求めてみよう。
基準を20℃(仮平均という)として平均を求めることができる。

	月	火	水	木	金	土	日
仮平均との 違い(℃)	+2	-3	-6	-3	-4	0	+2

$$(+2 - 3 - 6 - 3 - 4 + 0 + 2) = -12$$

$$\text{平均} = \text{仮平均} - \frac{12}{7} = 20 - 1.71 = 18.29 (\text{℃}) \dots ②$$

課題3 課題2で求めた平均①と、例2で求めた平均②を比べると、どんなことがいえますか。

課題3 例2のように、仮平均を使って、3週目と4週目の平均を求めてみよう。

① 3週目 仮の平均を ℃として求めなさい。

3種目	月	火	水	木	金	土	日
仮平均との 違い(℃)							

平均を求める計算 () =

$$\text{平均} = \text{仮平均} - \frac{\hspace{2cm}}{7} = \underline{\hspace{2cm}} \text{℃}$$

② 4週目 仮の平均を ℃として求めなさい。

4週目	月	火	水	木	金	土	日
仮平均との 違い(℃)							

平均を求める計算 () =

$$\text{平均} = \text{仮平均} - \frac{\hspace{2cm}}{7} = \underline{\hspace{2cm}} \text{℃}$$

<練習1> 次の表は、大縄飛び大会本番の1年5クラスの記録から、仮平均を使って平均を求めようとしている表です。

① 仮平均はいくつですか。

	1組	2組	3組	4組	5組
跳べた回数		40		55	42
仮平均との 違い(回)	+6		-8		-3

② 左の表を完成させなさい。

③ 左の表をもとに、1年5クラスの跳べた回数の平均を求めなさい。

<練習2> まるがめ製麺所は、1日の売上数を、水曜日の売上数150杯を基準にして、次の表のように記録しています。

① 1週間の売上数の平均を求めなさい。

	月	火	水	木	金	土	日
売上数(杯)	+7	-14	0	-8	+10	+23	+17

② この1週間の売上総数を求めなさい。